

No.3 事業名:広島県民の医療や健康等個人情報にブロックチェーン型情報管理と情報信託機能を付与した情報流通基盤を構築する事業(代表者:広島大学) (1/4)

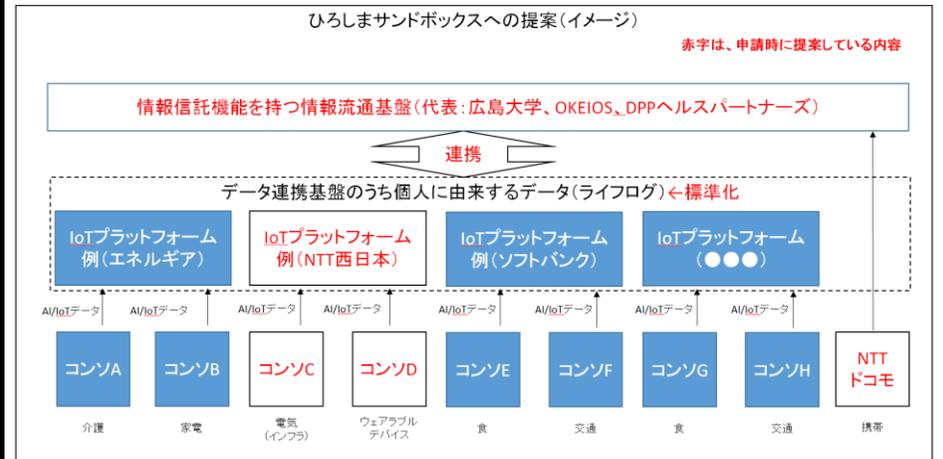
■事業概要

個人の承諾に基づき、異業種・異企業間のデータ交換を可能とする情報信託機能を付加することで、各プラットフォーマー、各コンソーシアムで蓄積されるデータを横串にする情報流通基盤サービスを構築する。これにより、広島県のAI/IoT実証プラットフォーム事業で生まれるデータ連携基盤(仮称)に貢献する。

主な事業内容は、①関連データの標準化、②各プラットフォーマー、各コンソーシアム、ライフログを扱う様々な団体とのインターフェイス開発、③TOKEN授受機能開発である。

事業成果の展開には、広島大学で採択されている、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「AIを活用した保健指導システム研究推進事業」、「H30 IoT等活用行動変容研究事業(健康経営)」を活用する。

■コンソーシアム体制・役割



	役割
広島大学	データ標準化取り纏め、運用ルール作り、渉外
OKEIOS	情報流通基盤開発、インターフェイス開発、AI開発
NTTドコモ	ライフログ提供、AI開発
DPPヘルスパートナーズ	健康・医療系データ標準化支援

No.3 事業名:広島県民の医療や健康等個人情報にブロックチェーン型情報管理と情報信託機能を付与した情報流通基盤を構築する事業(代表者:広島大学) (2/4)

■課題

AI/IoTプラットフォームの中で、個人に由来するデータは基本的に商品価値を有する。ヘルスケア産業市場をはじめ、個人管理されているデータは、異業種間の交換ニーズが高い反面、交換するデータの加工作業や提供範囲の判断などのシステム課題もある。Society5.0を実現するには、新たなデータ交換に対する同意形成の仕組みが求められる。

■課題解決に資するAI/IoTサービス

個々人が自分のデータを把握しセキュアに管理するとともに、個人の判断に基づき、第三者(他の事業者)にデータを提供したり、その対価(TOKEN等)を受け取ったりすることが出来る情報信託機能を、AI/IoTプラットフォームに付加することで、データ流通を促進。

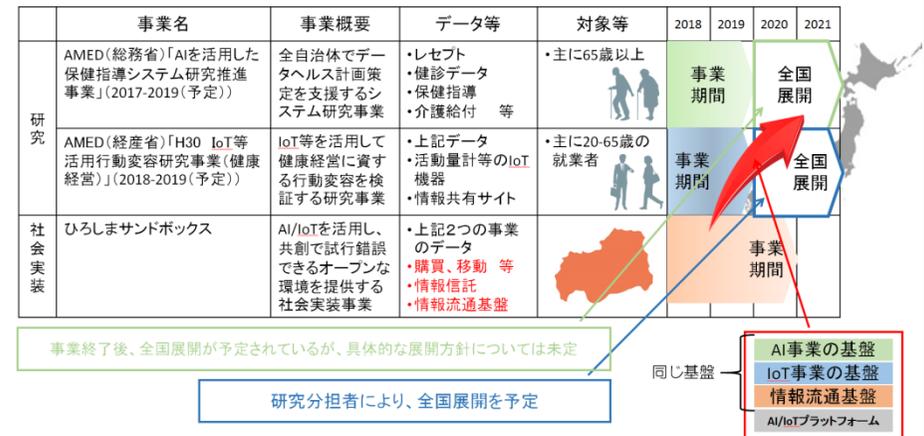


ひろしまサンドボックス

■スケジュール・実証成果目標

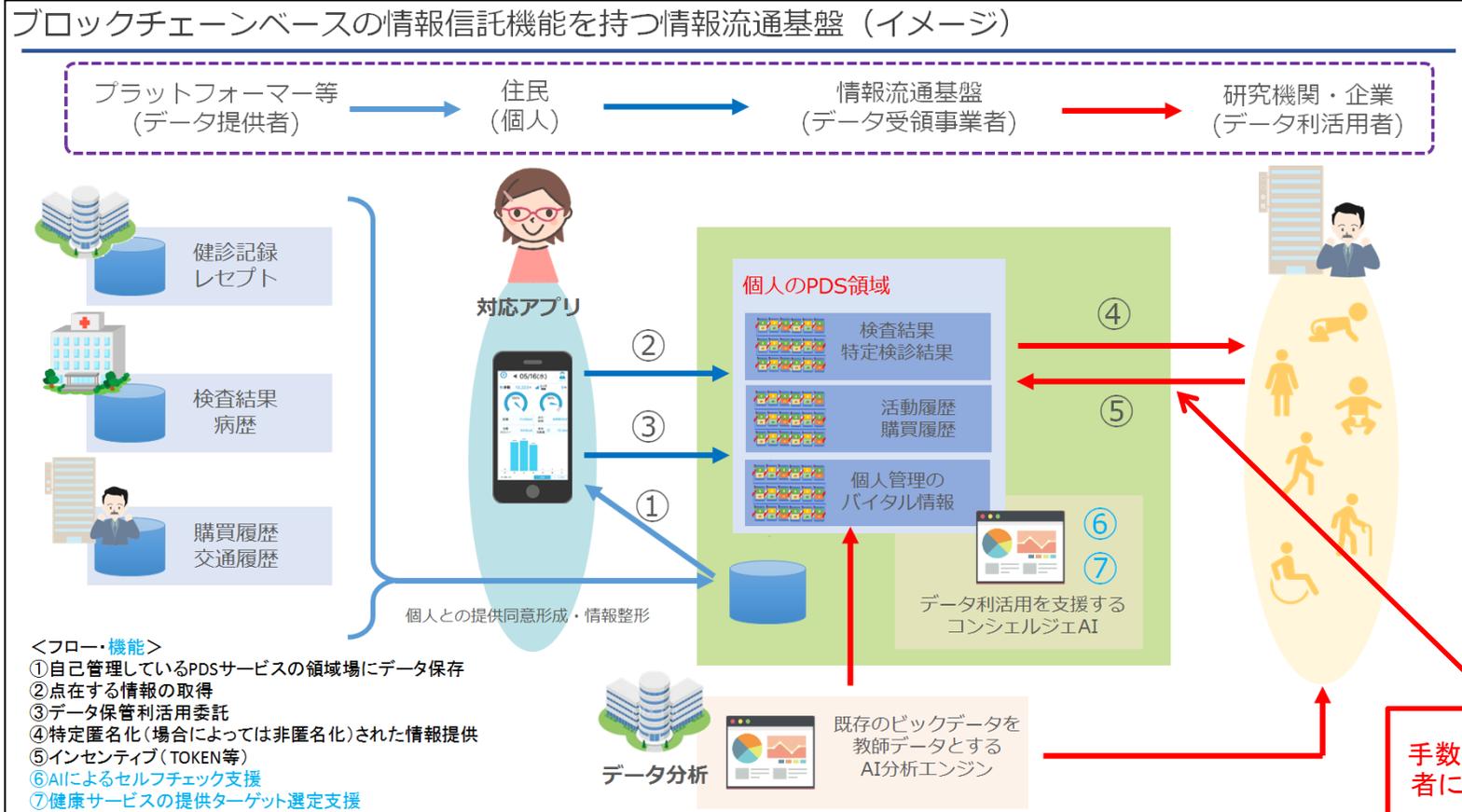
	システム開発、実証等
2018	I/F開発、ライフログのマッチング処理、エージェントAI最適化、データ利用者用API開発、 モニターによる小規模実証
2019	I/F開発、データ利用者からのTOKEN受入や個人へのTOKEN配分機能最適化、 広島県内全域でモニター検証、TOKEN交換
2020	全国展開に向けた各機能の最適化、 広島県内全域で検証、全国展開

広島大学が関わる各事業と全国展開の構想



No.3 事業名:広島県民の医療や健康等個人情報にブロックチェーン型情報管理と情報信託機能を付与した情報流通基盤を構築する事業(代表者:広島大学) (3/4)

■事業実施のアピールポイント等



No.3 事業名:広島県民の医療や健康等個人情報にブロックチェーン型情報管理と情報信託機能を付与した情報流通基盤を構築する事業(代表者:広島大学) (4/4)

■ご案内

- ①本事業は情報流通基盤と連携するプラットフォーマー、コンソーシアム、企業を募集します。
- ②関連のAMED「IoT等活用行動変容研究事業(健康経営)」では、従業員の健康に留意しながら経営向上が可能か否かの検証に使用するIoTデバイスを募集予定です。

